

## #06\_離れることが嫌になって

「すう…すう…すう…すう…」

「すう…すう…すう…すう…」

「すう…すう…ん、んう…」

「はあ…」

「んっ…」

「寝てる…よね？」

「ふう…よかった」

「あんたが寝てる今だから、言うけど…」

「あんたのおかげで、ここ最近は、ずっと楽しかったよ」

「居心地いいし…ご飯も、温かいし、殴られたりもしないし…」

「愛ってのも…教えてもらったし」

「だから、そろそろここ…出ないと…」

「こんな幸せじゃ、バチ…あたりそうだし」

「ふう…はあ…」

「ん、ちゅう…」

「今まで、本当に…ありがと」

「顔合わせ別れるのは辛いから…起きる前に、出るね…」

「んっ…」

「はあ、ふう…」

「んー…」

「なんでだろ…出でいかなくちゃって、わかってるのに…」

「ん、最後に…1回、1回だけ…」

「あんたの近くで、気持ちよく、させて…」

「はあ、はあ…」

「んっ…ふうっ…ん…ふう…はあ…んっ…んっ…」

「はあ…ん…ん…はあ…んつ…ん…ん…」

「んっ…んっ…ふっ…ふう…んんう、ふう、はあ…」

「…はあ…ふう…ふう…」

「ふう、んつ…んつ…ん…んう…ん…」

「んっ…はあ…ん…ん…はあ…はつ…んっ…んんっ…！」

「はあ、はあ…はあ～…」

「ふう…隣にいるだけで…すぐに気持ちよくなっちゃう…」

「はあ、はあ…んつ！ ん、ふう…んつ…」

「はあ、はあ…ふつ…んつ…はあ、んつ…はあ…はあ…」

「ふう…んつ…はあ…んん、んつ…ふう…はあつ…」

「んっ…んっ…ん…んうっ！ はあ、ん…んう…」

「んっ…ふっ…はっ…ん…ん…ん…ん…んっ…ふっ…んんっ…っ…ふっ…ふっ…」

「はあ…はつ…はつ…ん…ん、ふつ…ん…はつ…ん…んん…ふつ…はつ…ふつ…はあ…」

「はあ…はあ…ぐぐ…ぐ…ふつ…ぐぐつ！ ぐ…つは、あ…あつ…ぐぐ…ふつ…ぐつ…ふつ…」

「ん…あ…あっ…んっ…あふ…んっ…んん！」

「ふう…はあ…ん…ん…んつ…んんつ…ふつ…ん…！」

「んう…んっ！ んっ！ んっ！ はあ…んううつ！」

「はあ、はあ…はあ…ふう…んう…！」

「んう…指…はあ、はあ…止まんない…っ！」

「はあ…ん…ん…ん、ふつ…んつ！ んつ、ふう…」

「んんっ…ふっ…はあ、ああ…あ…んあ…はあ…んんっ！」

「んっ、んっ…んあっ、あっ…んう…んっ！　んふう…！」

「はあ、はあ…ふ、んくう…んつ、んう…はあ、はあ、はあ～…ふうつ！」

「んつ…んつ…ん…あ、あ、あんんつ…！」

「はあ、はあ…ふう…んん、んんん…！」

「ん…ふう、ふう…」

「ん…」

「起きて…ないよね？」

「ふう、ふう…」

「はあ…ふう…んつ、良かった…」

「じゃあ、もう少し…もう少しだけ…」

「これで、最後…最後だから…はあ、はあ…」

「ん…んうつ…」

「んう、ふう…ふう…ふつ…んつ…あつ…あつ、んあつ…」

「外、だけじゃなくて…中も…そろそろ…んつ！」

「んつ、あつ…！ んうううつ！」

「んつ…んふつ！ ふつう、んつ！ んつ！ んんうう…んんつ！」

「んふう、はあ、んつ…はあ、はあ…はあ…んつ、くう…♡」

「はあ、はあ…んんつ！ ダメ…目の前にいると…んつ♡」

「した時の事…んつ！ 思い出して…はあ、はあ…んんつ！ 感じちゃうつ…♡」

「はあ、はあ…んんつ！ んつ！ んう！ ふう、ふう…んんつ！」

「はふう、ふう、ふう…んんつ、でも…はあ、はあ…んつ…うう…」

「指だと…んつ、んんつ…奥まで、届かないよお♡」

「はあ、はあ…んんつ、ふう、ふう…♡ んつ！ はあ、はあ…ああ…んつ♡」

「はふう、ふう…ふう…挿れて…欲しい…んんつ…けど…はあ、はあ♡」

「そんな、わがまま…言っちゃ、ダメ…だもんね…はあ、はあ…ふうつ！ んんつ！」

「んんつ！ 私、どうして…んんつ！ こんな事…言うように…

「はあ、はあ、なっちゃったんだろう…んんつ！」

「んんつ！ はあ、ふつ！ んんつ！ んつ！ んんう♡ んつ！ んつ♡」

「んう…ふう、ふう…んんう、んつ！ んつ！ はあ、はあ…ふう♡」

「もう少しだけ…もう少し…だけえ♡ はあ、はあ…んつ♡ はあ…ふうう♡」  
「んんう！ んう！ あっ…はっ！ んつ！ んんつ！ ああつ、ふう…ふうつ！」  
「あうつ…んんつ、ふう、ああつ、ん…！ ああ…んんつ！」  
「んう…あつ…あふつ、あつ…ああつ…んつ！ んう！ あつ！ あつ！」

「中…ダメ…んんつ！ 気持ちいいの…止まら…ないつ…んんつ！」  
「んんつ…すう、はあ…ああ…はあ、はあ…ああ…んつ！ んんつ！」

「はふう、ふう…んん、もう…声…んんつ！ 抑えるの…んんつ！ 無理い…」  
「ああ、はあ、はあ…はあ、ふう…んんつ♡」  
「んんつ！ んん！ んあつ！ ああつ！ あつ！ んんつ！ んつ、んつ、んんつ！」  
「はあ、はあ…あうう…んつ…んんつ！」

「はあ、はあ、はあ、んんつ！ ああ、ああつ…んんつ！」  
「んんつ、ふう、はあ…はっ、はっ…！ はあ、ふう…んつ…ふうう♡」  
「もう…はあ、はあ…あつ、あつ、あつ…ダメえ…♡」

「んつ…んんつ♡ んんんつ…くうううう～～～つ…！」

「んんんつ♡ んんつ♡ んんつ、んんん～♡」  
「はふう、ふう、ふう…んつ…ふううう♡」  
「はあ、はあ、はあ…んつ♡ ふう、はあ、ふう…」

「はあ…んつ、私…1人で…んんつ♡ こんなこと…今まで、なかつたのに…」

「んつ…やっぱり、私…変えられちゃつたんだ…」